

2026年度 酪農学研究科 修士課程 第1期入学試験問題
(必修： 農業経営学)

【解答又は解答例】

農業における農地の働き・意義を、①経営体の視点、②国家の視点からそれぞれ 50～100 字程度で説明した上で、経営体が農地を維持する上で必要な取組み、国の施策について必要と思うことを述べなさい。

【経営体の視点】

農地は農業経営における主要な生産要素であり、作業効率や生産コスト、収益性を規定する基盤となる。経営体が農地を集積・管理し安定的な利用を確保することは、経営の持続性に貢献する。(87)

【国家の視点】

農地は食料生産を通じた食料安全保障の基盤であると同時に、国土保全や農村地域の維持に資する公共的資源である。その適正な保全と利用は、産業としての農業だけではなく国全体の安定に関わる。(90)

経営体が自らの経営耕地を維持し、経営を維持するためには、農地の集積・団地化による効率化を進めるとともに、基盤整備等の事業の利用といった取組みも検討しながら、地力の維持管理や生産力の向上を通じて、地域との調整を図りながら将来にわたり持続可能な経営基盤を確保する必要がある。

そのために国に必要な施策としては、担い手への農地集積を促す制度整備や基盤整備支援に加え、不利地域における農地維持への支援を行い、地域農業の継続性を確保しつつ農地の荒廃を防ぐことが重要である。